

下水道事業評価(令和5年度)

担当課

ポンプ場管理センター

1 事業情報

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	② ポンプ場における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施策	耐震性能の評価・調査診断を行い、耐震性能が不足していると判定されたポンプ場については、耐震補強を進めます。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	被災による影響度が大きい施設を考慮し、伊刈排水機場、領家第八公園ポンプ場の耐震診断、青木中継ポンプ場の耐震補強工事を実施します。							
期間	令和5年4月	～	令和6年3月					
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	38,500	30,745	7,755	27,995	20,350	7,645	73%
	工事費	6,105		6,105	5,995		5,995	98%
	原材料費	0			0			
	委託料	32,395	30,745	1,650	22,000	20,350	1,650	68%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	5,135			5,135			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	26,499千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	69%		
進捗状況	領家第八公園ポンプ場耐震診断委託は次年度へ延期。伊刈排水機場の耐震診断委託は契約を行い業務が円滑に進むよう協議、指導を行いました。青木中継ポンプ場の耐震補強工事は設計は終了し、契約準備中です。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	青木中継ポンプ場耐震補強工事及びそれに伴う監理業務委託は工期内に竣工しました。伊刈排水機場の耐震診断は契約期間内に完了しました。 なお、領家第八公園ポンプ場の耐震診断の設計額が足りなくなったため、令和6年度に実施します。
------	---

5 指標

指標					R4	R5	R6
指標名	ポンプ場の耐震化率	単位	%	目標値	28.5	47.6	
算出式・根拠	(耐震化したポンプ場/全ポンプ場) × 100			実績値	42.8	47.6	
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	A		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
早期の全ポンプ場耐震化完了に向け、まずは耐震診断が完了していないポンプ場について、今後、早急を実施し、全体計画の把握をしていきます。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
総合地震対策計画の第2期の4年目が終了し、耐震事業が早期に終了するよう加速化を図っており、耐震診断や補強設計を含め、予定している計画目標を確実に施行できるよう適切に準備を行っていきます。	現状維持で継続